

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校名 古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名 ・ コース名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
商業実務 専門課程	フラワービジネス *フラワーデザインコース	—	79 単位	6 単位 3×2 年	
	フラワービジネス *ガーデンデザインコース	—	67 単位	6 単位 3×2 年	
	フラワービジネス *フラワーウェディングコース	—	75 単位	6 単位 3×2 年	
	ブライダルビジネス *ウェディングプランナーコース	—	66 単位	6 単位 3×2 年	
	ブライダルビジネス *ドレス・ヘアメイクコース	—	73 単位	6 単位 3×2 年	
	コンピュータビジネス	—	学生募集停止 *在籍者なし	—	
	フラワーマスター	—	40 単位	3 単位 3×1 年	
	ブライダルマスター	—	40 単位	3 単位 3×1 年	
文化・教養 専門課程	初級公務員	—	学生募集停止 *在籍者なし	—	
	トータルビューティ	—	69 単位	6 単位 3×2 年	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html>

「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学園ホームページ (<http://www.kikutake.jp/09directors/index.html>) 上の事業報告書（役員に関する事項）の中で、理事（役員）の氏名を公表している。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	元会社役員	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	—
非常勤	会社役員	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	—
非常勤	会社役員	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	—
非常勤	会社役員	令和4年4月1日～ 令和8年3月31日	—
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1) 「作成」</p> <p>授業計画(シラバス)について、本校学事課より授業担当者に記載すべき下記事項を説明し提出を求めている。(1月初旬)</p> <p>①「科目名、時間数、受講対象者、担当教員名」</p> <p>②「授業担当者実務経験」</p> <p>③「授業概要」</p> <p>④「到達目標」</p> <p>⑤「授業計画」(授業回数・スケジュール)</p> <p>⑥「授業の方法」(講義・演習・実験・実習)</p> <p>⑦「必要教材、テキスト等」</p> <p>⑧「参考図書・参考URL」</p> <p>⑨「成績評価方法・基準」</p> <p>2) 「提出」</p> <p>授業担当者から学事課へ提出された授業計画書を点検・確認。(3月初旬)</p> <p>3) 「公表」</p> <p>授業計画書を本校ホームページに公表。(4月初旬)</p> <p>また初回の授業実施時までに、受講者にてWEB上の授業計画書を確認。</p> <p>授業の内容・目的・評価等についての理解を促す。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.nwfb.ac.jp/syllabus.html
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>1) 「履修認定方法」</p> <p>次に示す①、②の要件をいずれも満たした場合に当該授業科目の履修を認定する。</p> <p>①出席時間数が学期授業時間数又は学年授業時間数の5分の4以上であること。</p> <p>②成績評価が「C (可)」以上であること。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・各授業科目の成績評価は、A (優) 100～80点、B (良) 79～60点、C (可) 59～50点、D (不可) 49点以下の4段階で表し、A、B、Cを合格として単位を認定し、Dは不合格として単位は認定しない。</p> </div> <p>2) 「成績評価」</p> <p>成績評価は、定期試験、小テスト、課題、レポート、実技試験のほか、出席状況、学習状況、授業態度等に基づいて総合的に行っている。</p> <p>授業担当者には、授業計画書において成績評価基準を具体的な数値基準で明示するよう依頼。</p> <p>3) 「評定」</p> <p>各学科、コースごとに評定をつけている。</p> <p>4) 「履修認定委員会による厳格かつ適正な履修認定」</p> <p>履修認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>・成績評価の客観性・厳格性を確保するとともに、学生の学習到達度を明確化して、適切な学修指導と教育の質保証に資することを目的とする。前項の成績評価に対して、Grade Point (以下「GP」という。)を設定し、履修登録した授業科目のGPの平均値 Grade Point Average (以下「GPA」という。)を算出する。GPAの算出方法は以下のとおりとする。</p> <p>①30時間を1単位して換算し、各科目の学年成績に対して1単位当たりそれぞれ Grade Pointを付与する。</p> <p>(取得単位数×Grade Point+取得単位数×Grade Point+…) / 当該年度履修単位数 ※小数点第3位を四捨五入する。</p> <p>②GPは、Aを3点、Bを2点、Cを1点、Dを0点とする。</p> <p>③GPA算入は、合格した科目だけでなく、不合格となった科目も対象とする。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html</p> <p>「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

1) ディプロマポリシー「卒業認定・学位授与の方針」

本校の教育理念である「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」に基づいて設定された教育課程を履修して所定の単位を修得した上で、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる者に卒業を認定するとともに、専門士の称号を与える。

1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる。
2. フラワー・ブライダル・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている。
3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる。
4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。
5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福やその重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している。

2) 「卒業の認定に関する方針の公表」

授業担当教員には、新年度授業前に開催する「教職員全体会」において、学則の説明を通して「卒業の認定に関する方針」の具体的な内容を公表している。また、学生及びその保護者については、入学後のオリエンテーションの場で配布される「ハンドブック（学生便覧）」やその後のホームルーム活動の場を通して、学生一人ひとりに周知が図られるよう取り組んでいる。本校ホームページへも公表している。

3) 「卒業の認定の適切な実施状況」

卒業認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html>
「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る
情報公開」の項目にて公表

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校名 古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.kikutake.jp/05data/index.html
収支計算書又は損益計算書	http://www.kikutake.jp/05data/index.html
財産目録	http://www.kikutake.jp/05data/index.html
事業報告書	http://www.kikutake.jp/05data/index.html
監事による監査報告（書）	http://www.kikutake.jp/05data/index.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワービジネス科 フラワーデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位	0 単位	15 単位	64 単位	0 単位	0 単位
			79 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		39 人	0 人	2 人	10 人	12 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワービジネス科 ガーデンデザインコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	65 単位	0 単位	12 単位	55 単位	0 単位	0 単位
			67 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		6 人	0 人	2 人	11 人	13 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワービジネス科 フラワーウェディングコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	66 単位	0 単位	15 単位	60 単位	0 単位	0 単位
			75 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		31 人	0 人	2 人	9 人	11 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルビジネス科 ウェディングプランナーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位	14 単位	14 単位	37 単位	0 単位	0 単位
			65 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		93 人	0 人	2 人	18 人	20 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルビジネス科 ドレス・ヘアメイクコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	63 単位	7 単位	14 単位	52 単位	0 単位	0 単位
			73 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160 人		42 人	0 人	2 人	15 人	17 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門課程	トータルビューティ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62 単位	0 単位	18 単位	51 単位	0 単位	0 単位
			69 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80 人		37 人	0 人	1 人	16 人	17 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	フラワーマスター科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	30 単位	0 単位	15 単位	85 単位	0 単位	0 単位
			100 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		0 人	0 人	2 人	10	12 人	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		専門課程	ブライダルマスター科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	30 単位	12 単位	19 単位	73 単位	0 単位	0 単位
			104 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20 人		0 人	0 人	4 人	18 人	20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>(概要)</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>1) 「作成」</p> <p>授業計画（シラバス）について、本校学事課より授業担当者に記載すべき下記事項を説明し提出を求めている。（1月初旬）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 「科目名、時間数、受講対象者、担当教員名」 ② 「授業担当者実務経験」 ③ 「授業概要」 ④ 「到達目標」 ⑤ 「授業計画」（授業回数・スケジュール） ⑥ 「授業の方法」（講義・演習・実験・実習） ⑦ 「必要教材、テキスト等」 ⑧ 「参考図書・参考 URL」 ⑨ 「成績評価方法・基準」 <p>2) 「提出」</p> <p>授業担当者から学事課へ提出された授業計画書を点検・確認。（3月初旬）</p> <p>3) 「公表」</p> <p>授業計画書を本校ホームページに公表。（4月初旬）</p> <p>また初回の授業実施時には、授業担当者より授業計画書（印刷物）を全受講者に配布。授業の内容・目的・評価等についての理解を促す。</p>

成績評価の基準・方法

(概要)

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

1) 履修認定方法

次に示す①、②の要件をいずれも満たした場合に当該授業科目の履修を認定する。

①出席時間数が学期授業時間数又は学年授業時間数の5分の4以上であること。

②成績評価が「C(可)」以上であること。

・各授業科目の成績評価は、A(優) 100～80点、B(良) 79～60点、C(可) 59～50点、D(不可) 49点以下の4段階で表し、A、B、Cを合格として単位を認定し、Dは不合格として単位は認定しない。

2) 「成績評価」

成績評価は、定期試験、小テスト、課題、レポート、実技試験のほか、出席状況、学習状況、授業態度等に基づいて総合的に行っている。

授業担当者には、授業計画書において成績評価基準を具体的な数値基準で明示するよう依頼。

3) 「評定」

各学科、コースごとに評定をつけている。

4) 「履修認定委員会による厳格かつ適正な履修認定」

履修認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>1) ディプロマポリシー「卒業認定・学位授与の方針」 本校の教育理念である「本物志向の教育」、「国際教育・教育の国際化」、「師弟同行を踏まえた教育活動」、「学校文化」に基づいて設定された教育課程を履修して所定の単位を修得した上で、次の資質・能力を身につけ総合的に活用できる者に卒業を認定するとともに、専門士の称号を与える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域社会、国際社会の動向に目を向け、より良い社会の実現に向けて主体的かつ積極的に行動し、貢献することができる。 2. フラワー・ブライダル・ビューティの各分野における専門性の基礎となる幅広い教養を深め、専門的な知識・技術・職業理解を身につけている。 3. 他者を尊重し、多様な価値観を受け止め、様々な人々と円滑にコミュニケーションを図ることができる。 4. 自らを律し、課題を発見し、他者と協働して課題解決のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。 5. 身につけた教養や専門性をもって他者に寄与できることの幸福や重要性を深く理解することができる豊かな人間性を有している。 <p>2) 「卒業・進級認定に関する方針の公表」 授業担当教員には、新年度授業前に開催する「教職員全体会」において、学則の説明を通して「卒業・進級の認定に関する方針」の具体的な内容を公表している。また、学生及びその保護者については、入学後のオリエンテーションの場で配布される「ハンドブック（学生便覧）」やその後のホームルーム活動の場を通して、学生一人ひとりに周知が図られるよう取り組んでいる。本校ホームページへも公表している。</p> <p>3) 「卒業・進級認定の適切な実施状況」 卒業・進級認定委員会は、校長、各学科長、事務課長、学事課長、ホームルーム担任によって構成され、委員会開催時での認定資料に基づき適切に認定している。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「クラス担任」の配置 学生一人ひとりの心情あるいは行動を把握した上で、学修支援を実践することが重要であるという観点から、全学科ともクラス担任を配置している。 2. 「入学前ステップアップセミナー」の実施 本校に合格した学生を対象に学科別「入学前ステップアップセミナー」を実施している。入学する前に演習・実習の授業を通して業界の実際を学ぶと共に、円滑に専門学校の生活が送れるよう支援している。 3. 「資格対策講座」の開設 本校での学習と関連付けて、多様な検定対策講座を開設し、学生一人ひとりのスキルアップを支援している。 4. 「他校との協定」 学校法人愛知理容学園アリアーレビューティール専門学校との協定締結により、Wスクールで美容師免許取得に向けてサポートしている。 *学費減免あり

○フラワービジネス科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
47人 （100%）	0人 （0%）	38人 （80.9%）	9人 （19.1%）
（主な就職、業界等） ブライダルフラワー、生花店、造園業			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） フラワー装飾技能士、園芸装飾技能士、造園技能士、パーソナルカラー検定など			
（備考）（任意記載事項）			

○ブライダルビジネス科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
98人 （100%）	1人 （1%）	89人 （90.8%）	8人 （8.2%）
（主な就職、業界等） ブライダル、販売、美容業界			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） ブライダルコーディネーター技能検定3級、着物着付け検定、サービス接客検定など			
（備考）（任意記載事項）			

○トータルビューティ科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11人 （100%）	0人 （0%）	9人 （81.8%）	2人 （18.2%）
（主な就職、業界等） 美容業界、エステサロン、ヘアメイク			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） AJESTHE 認定フェイシャルエステティシャン、AMJ エアブラシメイクアップアーティストディプロマ、着物着付け検定など			
（備考）（任意記載事項）			

○フラワーマスター科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （100%）	0人 （0%）	0人 （100%）	0人 （0%）
（主な就職、業界等） 生花店			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接指導、ガイダンス・説明会等案内、オリジナルのキャリアカリキュラムにて就職指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） フラワー装飾技能士、園芸装飾技能士、造園技能士、パーソナルカラー検定など			
（備考）（任意記載事項）			

○ブライダルマスター科

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
(備考) (任意記載事項)			

○フラワービジネス科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	3人	3.6%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、学校生活・学業不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談等		

○ブライダルビジネス科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
164人	6人	3.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、学校生活・学業不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談等		

○トータルビューティ科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	3 人	8.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、学校生活・学業不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による面談等		

○フラワーマスター科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

○ブライダルマスター科

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
フラワービジネス科	150,000 円	800,000 円	120,000 円	
ブライダルビジネス科				
トータルビューティ科				
フラワーマスター科				
ブライダルマスター科				
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html 「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学生が質の高い実践的な職業教育を享受できるよう、学校運営の改善と発展を目指すため学校評価 (自己評価・学校関係者評価) を実施する。 実践的な職業教育を目的とした、自らの教育活動その他の学校運営について、社会のニーズを踏まえた目指すべき目標を設定し、その達成の適切さ等について評価する。 評価結果に基づき、学校として組織的・継続的な改善を図る。 ※学校関係者評価委員会は、年2回実施 評価項目 1) 教育理念・目的・人材育成像 2) 学校運営 3) 教育活動 4) 学修成果 5) 学生支援 6) 教育環境 7) 生徒の受け入れ募集 8) 財務 9) 法令等の遵守 10) 社会貢献・地域貢献		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
業界団体 (ブライダル) 役員	2022. 4. 1～2024. 3. 31	業界関係者
業界関連会社 (フラワー) 役員	2022. 4. 1～2024. 3. 31	業界関係者
業界関連会社 (ビューティ) 役員	2022. 4. 1～2024. 3. 31	業界関係者
元私立高等学校教員	2022. 4. 1～2024. 3. 31	教育有識者/ 高等学校関係者
業界関連会社 (ブライダル) 社員	2022. 4. 1～2024. 3. 31	卒業生/ 本校同窓会役員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nwfb.ac.jp/disclosure.html 「大学等における修学支援に関する法律第7条1項に係る情報公開」の項目にて公表		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nwfb.ac.jp/index.html
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	専門学校名古屋ウェディング&フラワー・ビューティ学院
設置者名	学校法人 菊武学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		28人	29人	30人
内 訳	第Ⅰ区分	16人	17人	
	第Ⅱ区分	人	人	
	第Ⅲ区分	人	人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				30人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及び専 門学校（修業年限が2年以下のものに 限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人

年間計	人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	-人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	0人	-人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。